

# 「主体的・対話的で深い学び」による 授業づくりが本格的にスタートします

～令和2年度新学習指導要領全面実施に向けて～

本市が推進する小中一貫教育事業では、昨年度から市内全小中学校でしおがま「学びの共同体」による授業づくりに取り組んでいます。

これは、令和2年4月から小学校、翌3年4月から中学校で全面実施される新学習指導要領の中核となる「主体的・対話的で深い学び」による授業改善に先行的に取り組むもので、どの子にも「分かる・できる」喜びを味わえる授業づくりを目指しています。

この「学びの共同体」による授業づくりを市町村単位で実践している自治体は、県内では本市と富谷市ですが、小中一貫教育のシステムを土台にして取り組んでいるのは本市のみで、全国でも数少ない事例となっています。

昨年度は、第三小学校と第三中学校の2校をパイロットスクール（研究指定校）に指定し授業研究を推進してきましたが、今年度は、新たに第一小学校を加え、市内3校において重点的に取り組んでまいります。

つきましては、第一小学校において今年度1回目となる、授業研究会を開催いたしますので、ご案内いたします。

## ◇ 第一小学校授業研究会 ◇

1. 開催日 令和元年6月24日（月）  
13:30 研究授業（6年算数） 授業者 木村 宜智 教諭  
14:35 授業リフレクション（授業の振り返り）  
15:15 全体会  
指導助言者 山形大学 准教授 森田 智幸 様
2. 場 所 第一小学校多目的室
3. 参加者 第一小学校及び市内各小中学校の教職員

しおがま「学びの共同体」による授業づくりとは、一人の教員が全体に講義形式で行う「一斉授業」から、児童生徒の対話を重視し、支え合いながら学ぶ「学び合いの授業」に転換を図るものです。

